

【基本施策】

30. 安全で良質な住宅供給を推進する

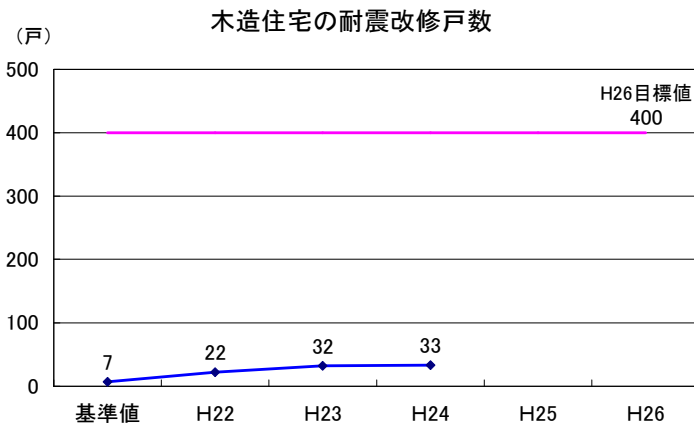
【基本方針】

鯖江市建築物耐震改修促進計画（平成20年2月策定）による住宅の平成27年度目標耐震化率90%を達成するため、耐震改修に対する助成制度の継続、強化に努めるとともに、市有建築物の耐震化工事を引続き進めます。また、市営住宅については効率的な維持管理に努めるとともに、経済情勢や社会構造の変化に伴い収入分位の低い世帯の増加が今後とも予想され、低所得層を対象とした市営住宅の需要が引続き見込まれることから、市営住宅の長寿命化計画を策定する中で、ストック改善工事を実施し、市営住宅の住環境の整備と長寿命化を図ります。

【実施施策】

◇安全な住宅への改修促進 ◇市営住宅の適正運営

【施策成果指標】



安全な住宅への改修促進を図るための指標として、鯖江市建築物耐震改修促進計画の目標耐震化率90%となる木造住宅の耐震改修戸数450戸（平成27年度時点）を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
安全で良質な住宅供給を推進する	2	0	2	4	0	0	0	4	0	0	0	4
安全な住宅への改修促進	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	2
市営住宅の適正運営	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2

これまでの取組み成果

鯖江市建築物耐震改修促進計画（平成20年2月策定）が、5年を経過し、社会情勢の変化等から実態との乖離が見られたため見直しを行った。また、災害に強いまちづくりを目指して、木造住宅の耐震診断や耐震改修について、関係団体と連携してイベント会場や出前講座等での助成制度等のPRを実施した。

今後の課題

木造住宅の耐震改修については、費用負担の問題と所有者意識の両面で耐震化が進まないのが現状だが、木造住宅の耐震改修については、自分自身の生命を守る観点から大変重要であり、安全性の向上に関する啓発と知識の普及が必要である。

今後の施策展開

平成25年度から、木造住宅の耐震改修の支援額のアップや一部改修が対象になるなど、支援内容が充実されたことを受けて、木造建築の模型を活用した目に見える形でのPRをこれまで以上に積極的に実施し、耐震に関する意識と知識の向上につながる啓発に努める。

【総合評価】

- A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。
- B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。
- C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。**
- D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：C〉